

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	安全に配慮しマットやクッションを使用している。	利用者数に応じ調整し環境を整える。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		看護師・保育士共に十分な配置はできている。	専門職がしっかりと把握し対応する。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		大人とも関わるよう多機能で行っている。	良いかかわり方ができるよう工夫する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		季節行事を意識して取り入れている。	伸び伸びと過ごせるようスペースを確保する。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	体調不良時や精神的に不安定な時に過ごせる部屋がある。	状況に合わせて部屋や場所を変化し安心できるようにする。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	活動記録に記録している。	ミーティングや朝礼で共有する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	職員が送迎車に同乗するので直接意見を聞くことができる。	評価表により職員が皆で検証し改善できるよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		何でも話せる環境を作る。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	内部評価は行っている。	必要時外部の意見も聞き業務改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内研修、社外研修に積極的に参加している。	職員の意見を取り入れ研修の機会を増やす。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		公表している。	随時相違がないか検証する。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			担当者会議での意見を取り入れ更新する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個々に安全委員会を開催し職員に周知している。	きめ細かな支援が行えるよう努める。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		短期目標を日々意識できるようにしている。	計画に相違がないか随時見直しを行う。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		インフォーマルなアセスメントを主觀が入らないよう職員で共有する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って具体的な内容を設定している。	保護者・職員が分かりやすいよう設定していく必要性がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			さまざまなプログラムを立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節行事を意識して取り入れている。	多職種の意見を聞き参考にする。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			学校や他事業所での活動を参考にする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	前日の振り返りも含めて全職員に伝わるようホワイトボードを活用する。	途中で変更になった事項も職員の目につくようホワイトボードに記入し共有できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		細かく記録に残し共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			職員全員で支援の検証・改善に努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		職員が送迎車に同乗し直接保護者の意見や要望を聞くようになっている。	随時更新していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加している。	職員誰もが参加できる体制を構築する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			関係機関との連携は不可欠。積極的に連携を図る。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2		保育所・療育センターとの情報共有は不可欠。今後も積極的に連携する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			成長過程を知り今後の支援に繋げられるようにする。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		課題発生時は会議などを活用し相談や助言を頂いている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		地域との交流の機会が持てるよう今後働きかけていきます。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	送迎時を利用し共通理解が持てるようにしている。	今後も継続していく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		現状行えていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			丁寧に説明し理解を得るよう努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			子供の最善の利益の優先を考慮していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		行っている。	しっかり説明を行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		家族や兄弟の状況によりさまざまな悩みがあると感じます。信頼関係を構築していきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		39に繋がるよう保護者・兄弟交流の場を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			速やかに対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	2	2	ラインを使用している。	ホームページを周知する。 お便りの再開を検討する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		している。	常に意識できるよう研修を行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1		保護者との関わりを増やし、水面下にある想いに気付けるようにする。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	参加はしている。	招待できるイベント企画を検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	作成はしている。	訓練を強化する。 保護者の心配事に着目する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		消防署に協力してもらい研修している。	継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者から医ケアを含め教えてもらっている。	変化時は更新する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		看護指示書に基づき支援している。	変化時は更新する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全委員が主となり計画を作成している。	職員に周知し改善点がないか意見を求める。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		安全計画での取り組みを保護者に知らせ安心して頂けるようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		職員に周知している。	しっかり話し合い再発防止に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修は行っている。	1人1人の特性を理解し人権に関する意識の向上を図る。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		保護者に説明し承諾を得たうえで計画に記載している。	他に代替えがないか常に検討していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピアリン(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間		2024年4月1日	~	2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間		2024年4月1日	~	2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日		2025年5月2日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の特性等に応じた専門性のある支援。	様々な職種の職員が連携し専門的な知識を活かして支援を行っている。	意見を言い合える場を設け共有意識を持ち実践する。
2	職員が子供のことを最優先に考えて支援を行っている。	四季を感じられるよう季節ごとのイベントを行っている。いろいろな経験や体験できるよう職員がアイデアを出し合い企画し取り組んでいる。	いろいろなことにチャレンジし楽しいをひとつでも多く見つけ、笑顔あふれる充実した時間を過ごせるようにする。
3	多機能型で行う事で他者との関わりが持てる。	同じ空間でいろいろな人と関わり交流を図ることで経験値が増えるように意識している。	外部との交流も企画たくさんの人と関わりを持つようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会がない。 全職員が保護者や兄弟児との関わりがない。	外出先でのふれあいはあるが計画して行っていない。	地域の子どもたちや他事業所の子どもたちと関わる機会を設ける。 保護者や兄弟児が参加できるイベントを検討する。
2	マニュアル・訓練の周知。	細かく丁寧な説明が出来ていなかった。	保護者・職員の不安などが解消できるよう聞き取りを行い安心して過ごせる空間にする。 訓練の強化を図る。 お便りやホームページを活用する。
3	ペアレント・トレーニングができていない。	行える職員を育成できていない。	職員の研修内容に盛り込み学び実践できるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ピアリン(児童発達支援)
------	--------------

公表日 2025年 5月 8日

利用児童数 2名

回収数 2名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1				整理を行い活動スペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					専門職が関わることで安心して過ごせるようになります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					室内の清潔を心がけ伸び伸びと過ごせる空間にする。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					様々な職種の職員が関わり連携を図る。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					成長に合わせ随時見直し更新を行う。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		ガイドラインに沿った支援内容を設定し実践する。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	1				成長に合わせ支援内容を更新する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1				繰り返し行うことが目的な事以外は固定化しないよう工夫する。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1		1		外出時積極的に交流を図る。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					変更時は書面を作成し説明していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1			1		説明し同意は得ていますが伝え足りないことがあればしつかり説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1		現状行われていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	2					ラインを活用したり送迎時に報告相談を今後も行いたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			2			安心して相談できるよう信頼関係の構築に努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1			保護者会は行っていませんが保護者や兄弟が参加できるイベントの開催を増やしていくたいと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1		誰に相談や申し入れをしても対応できるよう事業所としての考え方を共有していきます。

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		1		1		お便りの再開を検討します。 ホームページで発信していきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					とても大事な事なので職員同士で確認できる機会を設けます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1		1		マニュアルは作成しているが周知ができないので、周知を行い意見をもらい見直しを行う。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		消防署の協力のもと訓練を行っているが、さまざまな災害に対応できるよう定期的に訓練を行う。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1		安全計画を周知し意見を聞きたいと思う。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				2		事故や異変があれば迅速に保護者に連絡し速やかに対応する。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29 事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ピアリン(放課後等デイサービス)				公表日	2025年 5月 8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	安全に配慮しマットやクッションを使用している。	利用者数に応じ調整し環境を整える。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	看護師、保育士共に十分な配置はできている。	専門職がしっかり把握し対応する。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	大人とも関わるよう多機能で行っている。	良いかかわり方ができるよう工夫する。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	個々に合わせた物品を使用することで感染等のリスクを軽減している。	伸び伸びと過ごせるようスペースを確保する。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	体調不良時や精神的に不安定な時に過ごせる部屋がある。	状況に合わせて部屋や場所を変化し安心できるようにする。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	4	活動記録に記録している。	ミーティングや朝礼で共有する。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員が送迎車に同乗するので直接意向を聞くことができる。	評価表により職員が皆で検証し改善できるように努める。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			何でも話せる環境を作る。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	内部評価は行っている。	必要時外部の意見も聞き業務改善に努める。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修、社外研修に積極的に参加している。	職員の意見を取り入れ研修の機会を増やす。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公表している。	隨時相違がないか検証する。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			担当者会議での意見を取り入れ更新する。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個々に安全委員会を開催し職員に周知している。	きめ細かな支援が行えるよう努める。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	短期目標を日々意識できるようにしている。	計画に相違がないか隨時見直しを行う。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		インフォーマルなアセスメントを主觀が入らないよう職員で共有する。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	ガイドラインに沿って具体的な内容を設定している。	保護者、職員が分かりやすいよう設定していく必要性がある。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			さまざまなプログラムを立案していく。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節行事を意識して取り入れている。	多職種の意見を聞き参考にする。		

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			学校や他事業所での活動を参考にする。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	前日の振り返りも含めて全職員に伝わるようホワイトボードを活用している。	途中で変更になった事項も職員の目につくようホワイトボードに記入し共有できるようにする。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		細かく記録を残し共有する。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			職員全員で支援の検証・改善に努める。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		職員が送迎車に同乗し直接保護者の意見や要望を聞くようになっている。	随時更新していく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		ガイドラインを意識して作成している。	見直しを行っていきたいことを強化できるよう計画していく。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		個々の選択方法を一つでも増やすよう小さな変化に留意している。	より広く自己選択方法が増やすようにする。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	参加している。	職員誰もが参加できる体制を構築する。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		関係機関との情報共有は不可欠。積極的に連携を図る。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	基本的には保護者から聞いている。	トラブルを未然に防ぐため保護者の了解の元学校側と連絡調整を図ることも行う。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		成長過程を知り今後の支援に繋げられるようする。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	している。	切れ目なく支援を受け、社会生活に移行できるよう共有する。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		課題発生時は会議等を活用し相談や助言を頂いている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5		地域との交流の機会が持てるよう今後働きかけていきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		している。	今後も参加し学び支援の向上に努める。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時を利用し共通理解がもてるようにしている。	今後も継続していく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		現状行えていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
子 ど も の 状 況	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			丁寧に説明し理解を得るよう努めます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			子供の最善の利益の優先を考慮していきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		行っている。	しっかり説明を行います。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	3		家庭や兄弟の状況によりさまざまな悩みがあると感じています。信頼関係を構築していきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		39に繋がるよう保護者・兄弟交流の場を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			速やかに対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	ラインを使用している。	ホームページを周知する。 お便りの再開を検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		している。	常に意識できるよう研修を行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2		保護者との関わりを増やし、水面下にある想いに気付けるようにする。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	参加はしている。	招待できるイベント企画を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	作成はしている。	訓練を強化する。 保護者の心配事に着目する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		消防署に協力してもらい研修している。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者から医ケアを含め教えてもらっている。	変化時は更新する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	看護指示書に基づき支援している。	変化時は更新する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全委員が主となり計画を作成している。	職員に周知し改善点がないか等意見を求める。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		安全計画での取り組みを保護者に知らせ安心して頂けるようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員に周知している。	しっかり話し合い再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修は行っている。	1人1人の特性を理解し人権に関する意識の向上を図る。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護者に説明し承諾を得たうえで計画に記載している。	他に代替えがないか常に検討していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピアリン(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月2日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の特性等に応じた専門性のある支援。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	様々な職種の職員が連携し専門的な知識を活かして支援を行っている。	意見を言い合える場を設け共有意識を持ち実践する。
2	職員が子供の事を最優先に考えて支援を行っている。	四季を感じられるよう季節ごとのイベントを行なっている。 色々な経験や体験できるよう職員がアイディアを出し合い企画し取り組んでいる。	色々なことにチャレンジし楽しいを一つでも多く見つけ、笑顔溢れる充実した時間を過ごせるようにする。
3	多機能型で行うことで他者との関わりが持てる。	同じ空間でいろいろな人と関わり交流を図る事で経験値が増えるよう意識している。	外部との交流も企画たくさんの人との関わりをもつようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会がない。 全職員が保護者や兄弟児との関わりがない。	外出先でのふれあいはあるが計画して行っていない。	地域の子供達や他事業所の子供達と関わる機会を設ける。 保護者や兄弟児が参加できるイベントを検討する。
2	マニュアル・訓練の周知。	細かく丁寧な説明ができていなかった。	保護者・職員の不安などが解消できるよう聞き取りを行い安心して過ごせる空間にする。 訓練の強化を図る。 お便りやホームページを活用する。
3	ペアレント・トレーニングができていない。	行える職員を育成できていない。	職員の研修内容に盛り込み学び実践できるようにしていく。

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果					
事業所名	ピアリン(放課後等デイサービス)	公表日 2025年5月8日					
利用児童数 4名 回収数 3名							
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2			1		整理を行い活動スペースの確保に努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1		専門職が関わることで安心して過ごせるようになる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			2		行動を妨げないようフロア内を自由に動けるようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1			2		室内の清潔を心かけ伸び伸びと過ごせる空間にする。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					様々な職種の職員が関わり連携を図る。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2			1		成長に合わせ随時見直し更新を行う。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		ガイドラインに沿った支援内容を設定し実践する。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2			1		成長に合わせ支援内容を更新する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					繰り返し行うことが目的な事以外は固定化しないよう工夫する。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	1		外出時積極的に交流を図る。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2		1			変更時は書面を作成し説明します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2			1		説明し同意は得ていますが伝え足りないことがあればしつかり説明していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	1		現状行われていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					ラインを活用したり送迎時に報告相談を今後も行いたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1				安心して相談できるよう信頼関係の構築に努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				3		保護者会は行っていませんが保護者や兄弟が参加できるイベント開催を増やしていくたいと考えています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1		誰に相談や申し入れをしても対応できるよう事業所としての考え方を共有していきます。	

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	3					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		1	1	1		お便り再開を検討します。 ホームページで発信していきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2			1		とても大事な事なので職員同士で確認できる機会を設けます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。			1	2		マニュアルは作成しているが周知ができないので、周知を行い意見をもらい見直しを行う。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				3		消防署の協力のもと訓練を行っているが、さまざまな災害に対応できるよう定期的に訓練を行う。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			2		安全計画を周知し意見を聞きたいと思う。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1		事故や異変があれば迅速に保護者に連絡し速やかに対応する。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	3				安心して通えている。	より一層安心できる場を目指していきます。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	3				いろいろな体験をさせてもらえるので楽しんで利用している。	今後もいろいろなことに挑戦していくたいと思ってます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	3				毎日利用でき、伸び伸びと過ごさせてもらっている。	子供の成長を見守っていけたら幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ピリナ(放課後等デイサービス)			
		公表日 2025年 5月 8日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	安全に配慮しマットやクッションを使用している。	利用者数に応じ調整し環境を整える。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	看護師、保育士共に十分な配置はできている。	専門職がしっかり把握し対応する。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	大人とも関わるよう多機能で行っている。	良いかかわり方ができるよう工夫する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	個々に合わせた物品を使用することで感染等のリスクを軽減している。	伸び伸びと過ごせるようスペースを確保する。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	体調不良時や精神的に不安定な時に過ごせる部屋がある。	状況に合わせて部屋や場所を変化し安心できるようにする。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	活動記録に記録している。	ミーティングや朝礼で共有する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	職員が送迎車に同乗するので直接意向を聞くことができる。	評価表により職員が皆で検証し改善できるように努める。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			何でも話せる環境を作る。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	内部評価は行っている。	必要時外部の意見も聞き業務改善に努める。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修、社外研修に積極的に参加している。	職員の意見を取り入れ研修の機会を増やす。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	公表している。	隨時相違がないか検証する。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			担当者会議での意見を取り入れ更新する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個々に安全委員会を開催し職員に周知している。	きめ細かな支援が行えるよう努める。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	短期目標を日々意識できるようにしている。	計画に相違がないか隨時見直しを行う。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		インフォーマルなアセスメントを主觀が入らないよう職員で共有する。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	ガイドラインに沿って具体的な内容を設定している。	保護者、職員が分かりやすいよう設定していく必要性がある。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		さまざまなプログラムを立案していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	季節行事を意識して取り入れている。	多職種の意見を聞き参考にする。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	3		学校や他事業所での活動を参考にする。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	前日の振り返りも含めて全職員に伝わるようホワイトボードを活用している。	途中で変更になった事項も職員の目につくようホワイトボードに記入し共有できるようにする。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		細かく記録を残し共有する。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			職員全員で支援の検証・改善に努める。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	職員が送迎車に同乗し直接保護者の意見や要望を聞くようになっている。	随時更新していく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	4	ガイドラインを意識して作成している。	見直しを行っていないことを強化できるよう計画していく。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	個々の選択方法を一つでも増やすよう小さな変化に留意している。	より広く自己選択方法が増やすようにする。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	参加している。	職員誰もが参加できる体制を構築する。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		関係機関との情報共有は不可欠。積極的に連携を図る。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		基本的に保護者から聞いている。	トラブルを未然に防ぐため保護者の了解の元学校側と連絡調整を図ることも行う。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		成長過程を知り今後の支援に繋げられるようする。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		している。	切れ目なく支援を受け、社会生活に移行できるよう共有する。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		課題発生時は会議等を活用し相談や助言を頂いている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5		地域との交流の機会が持てるよう今後働きかけていきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		している。	今後も参加し学び支援の向上に努める。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎時を利用し共通理解がもてるようにしている。	今後も継続していく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		現状行えていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
機 構 的 な 方 針	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			丁寧に説明し理解を得るよう努めます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		子供の最善の利益の優先を考慮していきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		行っている。	しっかり説明を行います。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		家庭や兄弟の状況によりさまざまな悩みがあると感じています。信頼関係を構築していきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3		39に繋がるよう保護者・兄弟交流の場を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			速やかに対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ラインを使用している。	ホームページを周知する。 お便りの再開を検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		している。	常に意識できるよう研修を行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		保護者との関わりを増やし、水面下にある想いに気付けるようにする。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	参加はしている。	招待できるイベント企画を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	作成はしている。	訓練を強化する。 保護者の心配事に着目する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	消防署に協力してもらい研修している。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者から医ケアを含め教えてもらっている。	変化時は更新する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		看護指示書に基づき支援している。	変化時は更新する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全委員が主となり計画を作成している。	職員に周知し改善点がないか等意見を求める。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		安全計画での取り組みを保護者に知らせ安心して頂けるようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員に周知している。	しっかり話し合い再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修は行っている。	1人1人の特性を理解し人権に関する意識の向上を図る。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護者に説明し承諾を得たうえで計画に記載している。	他に代替えがないか常に検討していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビリナ(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月2日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の特性等に応じた専門性のある支援。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	様々な職種の職員が連携し専門的な知識を活かして支援を行っている。	意見を言い合える場を設け共有意識を持ち実践する。
2	職員が子供の事を最優先に考えて支援を行っている。	四季を感じられるよう季節ごとのイベントを行なっている。 色々な経験や体験できるよう職員がアイディアを出し合い企画し取り組んでいる。	色々なことにチャレンジし楽しいを一つでも多く見つけ、笑顔溢れる充実した時間を過ごせるようにする。
3	多機能型で行うことで他者との関わりが持てる。	同じ空間でいろいろな人と関わり交流を図る事で経験値が増えるよう意識している。	外部との交流も企画たくさんの人との関わりをもつようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会がない。 全職員が保護者や兄弟児との関わりがない。	外出先でのふれあいはあるが計画して行っていない。	地域の子供達や他事業所の子供達と関わる機会を設ける。 保護者や兄弟児が参加できるイベントを検討する。
2	マニュアル・訓練の周知。	細かく丁寧な説明ができていなかった。	保護者・職員の不安などが解消できるよう聞き取りを行い安心して過ごせる空間にする。 訓練の強化を図る。 お便りやホームページを活用する。
3	ペアレント・トレーニングができていない。	行える職員を育成できていない。	職員の研修内容に盛り込み学び実践できるようにしていく。

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	ビリナ(放課後等デイサービス)	公表日 2025年5月8日						
利用児童数 2名 回収数 2								
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1				整理を行い活動スペースの確保に努める。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1		専門職が関わることで安心して過ごせるようになる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1		行動を妨げないようフロア内を自由に動けるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					室内の清潔を心かけ伸び伸びと過ごせる空間にする。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					様々な職種の職員が関わり連携を図る。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					成長に合わせ随時見直し更新を行う。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					ガイドラインに沿った支援内容を設定し実践する。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2						成長に合わせ支援内容を更新する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2						繰り返し行うことが目的な事以外は固定化しないよう工夫する。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				2			外出時積極的に交流を図る。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2						変更時は書面を作成し説明していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2						説明し同意は得ていますが伝え足りないことがあればしつかり説明していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				2			現状行われていない。今後このような機会を設けるため研修計画に盛り込み職員同士が学べる時間を作ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2						ラインを活用したり送迎時に報告相談を今後も行いたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1						安心して相談できるよう信頼関係の構築に努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2			保護者会は行っていませんが保護者や兄弟が参加できるイベント開催を増やしていくたいと考えています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						誰に相談や申し入れをしても対応できるよう事業所としての考え方を共有していきます。	

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		お便りの再開を検討します。 ホームページで発信していきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					とても大事な事なので職員同士で確認できる機会を設けます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		マニュアルは作成しているが周知ができないので、周知を行い意見をもらい見直しを行う。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		消防署の協力のもと訓練を行っているが、さまざまな災害に対応できるよう定期的に訓練を行う。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1		安全計画を周知し意見を聞きたいと思う。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					事故や異変があれば迅速に保護者に連絡し速やかに対応する。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	2					より一層安心できる場を目指していきます。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					今後もいろいろなことに挑戦していくたいと思ってます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	2					子供の成長を見守っていけたら幸いです。